

あきた公共施設等総合管理計画

～県民の資産を未来に引き継ぐために～

公共施設等の管理に関する課題

- 公共施設等の老朽化への対応 〈計画的な管理等による県民の安全確保〉
- 人口減少等社会情勢の変化への対応 〈時代に即したサービスの適正化〉
- 財政負担の軽減・平準化 〈管理経費等の徹底したコスト対策〉



基本認識

こうした課題を踏まえると、現存の公共施設等すべてに対して、これまでと同様の維持・管理を継続することは困難です。

目標

県は、公共施設等の総量とサービスの適正化を図りながら、将来の秋田を担う世代に大きな負担を残すことなく、できる限り良好な状態で引き継ぐことを目標に、効率的で経済的な施設の維持・管理に努めていきます。

計画の主な内容

計画では、次のような「公共施設等の管理に関する基本的な考え方」などを示します。詳しくは、県のホームページなどをご覧ください。

- ・点検・診断等……………不具合の程度や原因を徹底的に分析する点検・診断等の実施方針
- ・維持管理・修繕等……………コスト対策と、求められるニーズに対応した修繕・更新等の実施方針
- ・安全確保……………老朽化により危険性の高まった施設等に対する安全確保の実施方針
- ・耐震化……………防災活動の拠点としての機能を確保するための耐震化の実施方針
- ・統廃合……………廃止や他の用途への転換、複合化など施設の統廃合の推進方針
- ・長寿命化……………予防保全型管理を行うなどの長寿命化の実施方針
- ・市町村との協働……………共同設置、共同管理など県内市町村との協働に関する推進方針
- ・民間の技術等の活用……………民間の技術やノウハウなどを積極的に活用する方針 など

この総合管理計画を指針として…

平成28年4月から、個別施設ごとの具体的な計画づくり（個別施設計画の策定）を進めていきます。

個別施設計画とは

個別施設ごとに、具体的で実効性のある維持・管理を行うための実施計画です。

個別施設計画の内容

- ・基本的な方針：施設のあり方（目指す姿）
- ・目標使用年数：施設を建替え、廃止するまでの期間
- ・管理上の課題：今後、施設を維持・管理する上での課題等
- ・管理に関する実施方針：必要な対策の内容など
- ・管理に関する実施計画：必要な対策の時期、かかる経費

裏面に続きます

個別施設計画の策定にあたって

道路や下水道などのインフラ施設は、適正な管理のもと、長寿命化をキーワードに、原則引き続き使用していくこととなりますが、将来大きな維持・管理経費がかかることが予想されます。

庁舎や学校、観光施設などの公共施設（ハコモノ）についても同様ですが、特にハコモノについては、将来のあるべき姿をじっくりと検討し、その結果、適正な管理が困難である場合は、廃止や統合も選択肢の一つとして検討していくこととなります。

今後大きく膨らむ維持・管理のための経費、施設を存続させるか、廃止とするかの判断など、県民の貴重な資産を預かる県にとって、非常に大きな課題です。

「公共施設等の相談室」を設置しました。

公共施設等の維持・管理に関するご意見やご提案、ご相談などをお寄せください。

公共施設等の相談室とは……

～県民のみなさまから、施設等の維持・管理に関してご意見を伺い、また、必要に応じてご相談等に応じるワンストップの窓口です。～

（通常、施設ごとに窓口は異なりますが、一つの窓口で相談などに対応できる体制をつくりましたのでご活用ください。）



※ 県は、県民のみなさまからのご意見などを「待つ」だけでなく、県から積極的にご意見などを「求めていく」ため、「あきた公共施設等総合管理計画推進のための懇談会」を地域ごとに開催する予定です。

詳細は、追って、県のホームページなどでお知らせします。

「公共施設等の相談室」の窓口



秋田県出納局財産活用課内
担当：施設マネジメント班

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

電話：018-860-2733 FAX：018-860-3900

E-mail: zaisan@pref.akita.lg.jp